

長崎県地学会誌 投稿規定

会誌編集部

1. **報文の種類**は次のとおりです。

研究報告（原著論文）、長崎ジオツアー巡検会記事、研究発表講演要旨、会務報告、地学教育、教材研究、短報、紀行文、資料、講座、総説（特定課題の総括）、随想、雑録、書評、抄録 など

2. 原稿の最初に、10行分をとり、表題、著者名、**英文による表題、著者名**を付けてください。所属機関または肩書き、すでに学会・研究会などで口頭発表したものは脚注に記します。

3. **研究報告**および**長崎ジオツアー記事**などは横2段組（1段の字数は21字×42行）とします。ただし、**研究発表講演要旨**のみは横1段組（44字×42行）で1ページか2ページに納めてください。句読点は、「,」「.」を使用し、「、」「。」は使用しない。

4. 1編の**原稿の長さ**は、図表や写真を含め、刷り上がり10ページ以内とします。

5. **原稿提出**は、本文・写真・図表とそのコピー1部（紙原稿）、およびCDなどの電子データメディアを添えてください。

6. 手書き原稿は、横書き原稿用紙（20字×20行）に楷書で清書してください。

7. **文体**は、固有名詞や慣用語を除き、原則として漢字とひらがなによる国語常態（である体）で**当用漢字**とします。難読の地名などにはルビをふってください。読みやすい原稿になるように努めてください。

8. **図・表**は、本文を理解するために最小限必要なもののみにとどめ、紙原稿にその位置を示してください。

- ・図（写真を含む）は、第1図、第2図・・・と、図の下側につける。
- ・表は第1表、第2表・・・とし、表の上側につける。
- ・写真が多数になる場合は、末尾に「**図版**」としてまとめる。

9. **図・表・図版のキャプション（説明文）**は番号順にまとめ、本文原稿（紙原稿）の欄外に図表の挿入箇所を明示してください。

10. **図**は、そのまま製版できるように書き、図の大きさは印刷時の縮小を考慮して作成してください。

11. **写真**は鮮明なものをつけてください。

1 2. 地形図・地質図には、縮尺と方位を明記してください。

1 3. 地形図を原図としてそのまま使用(コピーを含む)する場合は、次の例のように明示してください。

(例) この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1「川棚」を使用したものである。

1 4. 本文中の文献引用法

例：小川(1899)は、これを中央日本横溝帯と・・・

例：これを中央日本横溝帯とよんだ学者(小川, 1899)もいる・・・

例：これらの研究(原田, 1888：小川, 1899：小沢, 1923a, b, 1925)によると・・・

1 5. 引用・参考文献は末尾に文献として一括し、著者名のABC・・・順、同一著者のものは公表年順、年が同じものはa, bをつけてならべてください。ポイントは9に落としてください。

(文献リストの例)

井尻正三(1969) 洪積世と沖積世の境界問題. 地球科学, 23, 50-80

八木原 寛・清水 洋(1995) やや遠地地震を用いた雲仙火山の3次元P波速度構造. 日本火山学会講演会予稿集, 1995年秋季大会, 48.

牛来正夫(1975) 火成作用. 233-242, 共立出版 (書籍の場合)

1 6. 著作権の問題が絡んできますので、複写・貼り付けには十分気を付けてください。事前に関係先の許諾を得ておいてください。

1 7. 割付けは原則として編集部が行います。

1 8. 第1校正は、原則として著者が行ってください。

校正の際には、赤色のボールペンを用いて、鮮明に訂正してください。

「校正」は誤字の訂正、脱字の挿入にとどめ、大幅の削除や追加は行わないようにお願いします。

1 9. 投稿予約は7月1日まで、原稿締め切りは7月31日までとします。

2 0. 原稿の送り先は会誌編集部長宛とします。

2 1. 長崎県地学会誌に掲載された論文の著作権は、長崎県地学会に帰属します。